



株式会社マツオカ
 創業年：1923年（大正12年）
 代表者：松岡 肇
 事業内容：紳士服・紳士用品小売、不動産
 資本金：1,000万円
 売上高：非公開
 従業員数：20人
 所在地：東京都中央区日本橋3-4-11
 電話：03-3271-2081
 URL：http://www.tokyoeki-1bangai.co.jp/shopinfo.php?shopcode=S0020&kubun=1



店内

まちびと
紳士録
 #002 松岡 肇

1930年（昭和5年）、日本橋で生まれる。入新井第一小学校卒の生粋の日本橋っ子。趣味は旅行。油絵をたしなみ、美味しいものを食べ歩くことが何よりの楽しみ。家族は妻と娘、息子。

好きな店・おススメ：旬の食材を使用した懐石料理「日本橋織音」、個室懐石北大路「八重洲茶寮」



東京 日本橋
ますまづぐりネットワーク 2
 ●日本橋めぐりの会 遠藤梨栄

日本橋界隈を舞台に、まちづくりに取り組む人々とその活動などを紹介。まちを愛し、奮闘する「まちびと」の輪をリレー形式でつなごう。



東京都中央区の旧・日本橋野村ビル。近代モダニズム建築を代表する安井武雄の設計で、「日本橋」の袂に鎮座する鉄筋コンクリート7階建ての建築。野村證券が初めて東京進出した昭和4年に竣工された。



日本橋のメインストリートである中央通りを総勢約3,000名が練り歩く大パレード。右：パンフレット下：パレード当日

東京駅から徒歩5分、迎えてくれたのは、紳士服「マツオカ」社長の松岡肇さん。血色の良い肌、ピンと張った背筋から80歳という年齢は想像できない。東京中央専門店会理事、東京駅八重洲再開発協議会副会長、日本橋法人会理事など数多くの要職を務め、利害の異なる人々を絶妙なバランスでまとめている。

ここ数年、日本橋エリアには超高層ビルが続々と誕生。再開発の勢いに危機感を募らせた地元商店主らは、将来のまちの姿を計画段階から主体的に考えていく必要性

を感じ、「東京駅八重洲再開発協議会」を立ち上げた。伝統と風格あるまち並みを生かしつつ、域内回遊性の高いまちづくりをめざし、提言する。

また、自身が会長を務める「東京中央大通会」では、まちの特色として「着物を着たいまち」をPRしている。恒例の「日本橋京橋まつり」のメインイベント「大江戸活粋パレード」では「よさこい」「かつぽれ」とともに昨秋は「着物パレード」を実施し、好評を博した。



着物姿で人力車に乗り、パレードを盛りたてる松岡さん

好奇心、すぐに実現させる行動力が、まちを活気づけている。



華やかな扇子を手に、練習の成果が披露される



中央区観光大使の第28代「ミス中央」の皆さんと共に

まちは人のために
 人はまちのために
 ゆっくりと年をとろう

健康的なライフスタイルを日課とするのも、まちのために働きたいから。日々心がけているのは、暴飲暴食をせず、よく歩き、ストレスは溜めないこと。健康だから、まちづくりにも精を出せる。そして、まちづくりが生きがいとなり、ますます健康でいられるのである。



今回のまちびと
 日本料理「日本橋ゆかり」の野水喜一郎さん

日本橋めぐりの会「日本橋・京橋地区のまちづくりを提案・実行」応援する有志の任意出資者。日本橋老舗調剤「シアール」や「シャッターチャイナ」などの活動は既に知られた。他地域の自治体や事業者にも「まちびと」の企画を広く、人と人との社会で交流の場を作り出す。URL：http://www.nihonbashi-meguri.com/